



UIFA ニュース

発行 宇治市国際親善協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書広報課内
 電話 0774-22-3141 (内線2058) FAX 20-8776
 Eメール hishokohoka@city.uji.kyoto.jp ホームページ <http://uifa.news.coocan.jp>

第 83 号
 平成30年(2018年)12月

ヌワラエリヤ市公式訪問団来宇 2018年10月17日▶18日



宇治市の友好都市スリランカ・ヌワラエリヤ市から、パハラワツタゲ＝ドン＝チャングナラル＝カルナラツネ市長を団長とする公式訪問団5名が10月17日(水)から18日(木)までの日程で来訪されました。宇治市への訪問団来訪は2016年5月以來で、今回で7回目となりました。

訪問団一行は、まず宇治市役所での歓迎式典に出席された後、議場見学、市長への表敬訪問をし、昼食会に参加されました。午後からは宇治浄水場とクリーンパーク折居を視察され、熱心に質問されるなど大変興味深く見学されていました。

晴天に恵まれた翌日は、緑豊かなアクトパル宇治でグラウンド・ゴルフ



市民交流歓迎会にて

を体験された後、平等院を訪れ、宇治国際交流クラブと宇治市国際親善協会共催の「市民交流歓迎会」に出席されました。大正琴のBGMで入場され、お茶と風呂敷パフォーマンスをご覧になった後、風呂敷・折り紙・習字・お茶・おもちゃ・大正琴のワークショップにそれぞれ参加され、思い思いに楽しまれました。今回は着付けの体験もしていただき、女性の訪問団員は大変喜んでおられました。また、ヌワラエリヤ市からのプレゼントがあたる福引を急きょ開催し、会場は大いに盛り上がりました。

今回は団員として女性が2名参加され、民族衣装のサリーを常にお召しになっていたため、とても華やかに感じました。また、2日間という大変短い訪問期間でしたが、友好を深めることができ有意義な時間となりました。

グラウンド・ゴルフを一緒にプレイした会員から体験記をお寄せいただきました。



歓迎式典



市役所へ表敬訪問



宇治浄水場を視察



平等院にて

世界初？ サリー姿でグラウンド・ゴルフ



宇治市国際親善協会副会長 今川 博

10/17～18の2日間宇治市を訪問した友好都市ヌワラエリヤ市からの訪問団（団長：パハラワッタゲ・カルナランネ市長と副市長、及び市会議員の全5名）が、18日アクトパル宇治にてグラウンド・ゴルフを楽しんだ。

宇治市国際親善協会（久保田勇会長）と宇治市グラウンド・ゴルフ協会（山田敏信会長）が協力して企画したもの。当日は宇治市国際親善協会の辻久理事、グラウンド・ゴルフ協会

の吉岐泰子さんと通訳の渡辺真里さんが同行して行われた。

グラウンド・ゴルフに関する簡単な説明はバスの中で行っていたこともあり、会場に入ると直ぐにクラブを持って打ち出す入れ込みよう。わずかな練習の後、早速ゲームを開始した。「さみどりコース」の1.2.3番、それにロングホールの5番を使って行われた。

初めての取り組み、女性の二人はサリー姿のままのプレーとあって少し心配したが、何と素晴らしい腕前、特に副市長の女性と、男性議員の2人は4ホールを13点という驚くほどの腕前で、ホスト側のメンバーも必死になるほどであった。

参加者全員大変に楽しかったようで、かねてより要望している「ヌワラエリヤ市にグラウンド・ゴルフコースの設置」に対しても「必ず造る」とのコメントも出た。コースが出来ればグラウンド・ゴルフを通じての交流も可能で、より幅広い市民の交流が出来ることを期待している。



夏休み子ども★わくわくフェアに出展

7月27日（金）、28日（土）に開催された“夏休み子ども★わくわくフェア”に宇治国際交流クラブとともに出展しました。出展は7月27日（金）の一日のみでしたが、「世界は1つ！外国人と遊ぼう」と題して、フィン



ランドやベトナムの絵本の紹介や遊びを子どもたちと楽しみました。会場が3階の奥にあり、参加者が来てくれるのか心配しましたが、多くの子どもたちが訪れ、世界を少しでも身近に感じてくれたのではないかと思います。

災害多言語支援センター設置・運営訓練を実施予定

2019（平成31）年2月に宇治市において、宇治市及び宇治市国際親善協会、京都府国際センター主催で“災害多言語支援センター設置・運営訓練”を実施します。災害が起こった時に外国人住民に対して支援を行うための訓練です。詳細は、後日HPでお知らせする予定です。興味のある方はぜひご覧ください。

||||| 友好都市咸陽市を訪問 |||||

宇治市日本中国友好協会による咸陽市等市民訪問団（団長：井上浩宇治市日本中国友好協会長）が10月15日（月）から10月21日（日）までの日程で中国を訪れ、10月15日から18日の4日間、宇治市の友好都市咸陽市に滞在しました。今回の訪問団は、日中平和友好条約締結40周年記念、宇治市太極拳協会創立35周年記念として実施され、宇治市日本中国友好協会・宇治市国際親善協会からは15名、宇治市太極拳協会からは12名が参加し、総勢27名の訪問団となりました。

咸陽に到着した15日に咸陽陵地下博物館を見学し、16日には華山景区を遊覧、夜は咸陽市主催の歓迎会に出席し、熱い歓待を受けました。17日には、咸陽市内を観光し、黄土高原にある植林地宇治の森を視察しました。18日には西安市まで足を延ばし、秦始皇帝陵博物館・兵馬俑等を見学しました。16日～18日までの早朝には、渭水公園にて咸陽太極拳協会と交流をしました。また、小倉小学校の児童が描いた宇治市の紹介の絵や寄せ書き、こぞくら幼稚園の園庭の移り変わりを記録した「そこらへん」冊子、宇治市の名所の絵画などを贈呈し、様々な側面から親睦を深めました。

咸陽市を離れた後、上海市や周荘を観光し、全7日間の日程を終えました。参加した団員の訪問記をご紹介します。



宇治友好の森にて

宇治市民訪中団に参加して ブラカンヨウ、中国に乾杯 奥山千松

2013年に咸陽訪問団員として、生まれて初めて中国へ。以来中国に関心が高まり、雲南省の昆明・大理やシルクロードの蘭州～敦煌に出かけ、今回は2度目の咸陽・上海訪問となった。この5年間の変貌は目覚ましく、その一端を紹介してみたい。

今年は日中平和友好条約締結40周年・宇治市太極拳協会創立35周年にあたり、記念事業として日中友好協会の会員ら27名が参加した。中国には、「飲水思源（井戸を掘った人の恩を忘れるな）」という故事成句があるが、宇治市日中友好協会（井上浩会長）や宇治市太極拳協会（水谷弘子会長）の長年にわたる活動に感謝と敬意を表したい。

咸陽滞在中、毎朝近くの公園で現地の皆さんと合同して太極拳が行われた。全く初めての交流なのに、曲に合わせて「宇咸合一」一糸乱れぬ動きにまさに「一衣帯水（海や川に隔てられても近いこと）」と感動した。公園ではダンスや楽器演奏、バドミントンなど、市民が思い思いに楽しんでおり、生活に余裕が感じられた。



華山ロープウェイ入口にて

華山は、西安市の東120kmにある中国五名山の一つとして有名で、険峻さがウリである。5年前にできた全長4,211 mの世界最長クラスのロープウェイで西峰に登った。1本のロープにぶら下がって山や谷を3つぐらい↗↘↗↘↗↘したように思うのだが、文字通り「万丈の山 千尋の谷 前にそびえしりえに誘う」といった風情で、断崖絶壁まっしぐら「人生下り坂最高！」・・・に怖かった（+_+）兵馬俑は、5年前と様変わり、観光客でごった返していた。切符売り場周辺が大きく改造されてお

り、駐車場や売店も拡充されていた。西安咸陽空港に近く、中国有数の観光スポットとして多い日には1日に10万人も世界各国中国各地から押し寄せ、洗手間（トイレ）は万里の長城のような行列が、、（笑）

上海では、豫園・外灘などの定番コースを巡ったが、フランス系ショッピングセンターのカルフルで買い物をする機会があったので、市民の生活を知る一助として紹介したい。

フードコートには、日系の「食其家（すき家）＝牛丼店」があった。並盛が15元（270円）で日本の値段とあまり差がないように思った。日本の値段と同じぐらいで売れるということは、人件費や原材料費を勘案すれば、そこそこ採算も取れるはずで、外食産業が中国に積極的に進出している理由もガッテンガッテン！！困みに（すき家の）隣のラーメン店の求人ポスターでは、店長の給料は諸手当込みで17,000元（約30万円）、店員で5,500元（約10万円）であった。化粧品や歯磨き、シャンプー、電気製品などは、日本の値段の1.5倍～2倍ぐらいで、中国人が日本で爆買いする訳がよくわかった。余談だが、日本京都産と袋に大きく印刷されたカルビーのフルグラは500g入りで58元（1,000円）で日本の2～3倍だが、麺類やお菓子等の一般の食品は安いと思った。

中国訪問中は、毎食「まんぷく」で体重が3kgも増えてしまった。近いうちにまた「もらい笑い」に中国に行きたいなあ、「あなたとならトゥラッタッタ♪」



咸陽市主催歓迎晩餐会



上海にて

寄附を受納



矢野悟さん(左)から寄附を受け取る久保田会長

平成6年度咸陽市友好親善訪問団として咸陽市を訪れた矢野悟さんより宇治市国際親善協会へ国際交流等運営事業のためにとご寄附いただきました。寄附金は当時各団員からお土産や飲食代等として徴収した経費の残金で、当時の団員に声をかけ親善協会に寄附をいただくことになりました。当日は久保田会長も出席し、咸陽市の思い出話に花が咲いていました。寄附金は、国際交流事業等に役立てていきます。

雑観雑感

近年宇治市には多くの外国からの観光客や労働者や留学生達が訪れ、宇治市からも多くの市民がいろいろな国々の人々とつながりを持ち交流を深めています。

クラブの周年という機会に友好を結ぶ事となり、オーストラリア・ケアンズ市を訪問しました。

関空からケアンズ国際空港までは約7時間・時差も1時間、人々も親しみ易く、非常に好感の持てる町という印象を受けました。ケアンズには日本からも多くの若者たちが観光や英語習得の為に留学し現地でアルバイト等をしている者もおります。

そこには、真っ青な海と空・美しく整備された長く続く白い砂浜の海岸線・そして、沖には世界最大のグレートバリアリーフ・陸には手付かずの大熱帯原始雨林と二つの自然世界遺産が存在しています。

一方、宇治にも宇治上神社・平等院と二つの文化世界遺産が有る事も共通しています。

宇治市は三都市と友好都市盟約を結んで約三十五年が経過しました。

第一番目の友好都市は緑茶と紅茶の産地として世界的に有名な宇治市とヌワラエリヤ市、第二番目の咸陽市とは双方とも省と府の第2の都市で歴史の有る都市です。

カナダのカムループス市は第三番目の友好都市としてお互いに交流を続けています。

そして、オーストラリアのケアンズ市は多くの若者が気軽に訪問出来る第四番目の友好都市として相応しいと思います。(K.S)